

昭和 6年	明治5年の学制発布を受け、知言学校(塩名田)・修省学校(御馬寄)・右文学校(中原)・彰蔵学校(八幡)が開校。以降、幾多の変遷を経て尋常小学校より国民学校となる。
昭和22年	六三制実施。中津国民学校・御牧国民学校が中津小学校・御牧小学校となる。
昭和33年	中津村・五郎兵衛新田村・南御牧村の3ヵ村が合併し、浅科村となる。
昭和56年	統合小学校校舎竣工式
昭和57年	中津小学校と御牧小学校を統合し、浅科村立浅科小学校が現在地に開校する。
昭和62年	増築校舎落成式
平成 3年	校訓「賢・優・健」体育館に掲額。
平成 4年	開校10周年記念誌発行。
平成10年	フラワーロードの活動が評価され、建設大臣表彰を受ける。
平成11年	共生の森「みなこいランド」完成する。
平成12年	パソコン教室設置。
平成13年	20周年記念式典を行う。校舎大改修工事を行う。
平成16年	合併にあたり、寺尾賢明氏による「夢」の書、体育館に掲額。
平成17年	浅科村が佐久市に合併し、佐久市立浅科小学校となる。
平成21年	環境省メガワットソーラーモデル事業としてソーラー発電装置設置。
平成23年	学校創立30周年を迎え、記念式典を挙げる。
平成27年	金管バンドクラブが管楽器合奏フェスティバル東日本大会出場。
平成29年	金管バンドクラブ、陸上クラブ(男子リレー)が東海大会出場。 小中合同のコミュニティスクール推進委員会発足。
平成30年	金管バンドクラブが東海大会出場。
令和 元年	台風19号の影響で学校が避難所となった他、金管バンドクラブが東海大会出場を断念。 普通教室にエアコン設置。 新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休業が行われる。
令和 2年	新型コロナウイルス感染症対策のため分散登校が行われる。
令和 3年	学校創立40周年を迎え記念音楽会・運動会、航空写真撮影を行う。 一人一台端末(chromebook)が配置され、利用開始。 金管バンドクラブが東海大会にて金賞受賞(録画審査)。 本校、卒業生が東京オリンピック(陸上女子 5000m)に出場